

謹 賀 新 年

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

お正月も過ぎてしまいましたがあらためて新年明けましておめでとうございます。昨年は私達 NPO 法人 深澤晟雄の会にとって運営の厳しさを実感しながら四、七〇〇人という沢山の人が入館して下さい、大変ありがたい年でありました。しかも全国の都道府県の中で4県を残しほぼ全国からの入館でありあらためて深澤晟雄さんのすごさを実感する年でもありました。今後も私達は私達なりに無理をせずマイペースで晟雄精神を全国に発信していく覚悟です。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



一関中学時代の
深澤晟雄氏

日本農村医学会より10万円寄付される

昨年12月30日横浜市平鹿病院長であった故立身政一先生の長男である立身政信氏 岩手大学教授 保健管理センター長 医学博士が沢内をおとすれ第59回日本農村医学会学術総会の決定で 晟雄の会に10万円寄付したという事でありがたぐいいただきました。平鹿病院長であった政一先生は当時沢内病院の親病院を引き受けて下さり今日の地域医療は先生により基礎がつけられたと申しても過言ではありません。また晟雄さんにすれば17年下で東北大の後輩である先生とは大変気が合い横浜市下で先生宅でしょっちゅう楽しく二人で話をしていたと奥様のチ子さん 99才が証言しています。先生は実行型で男の中の男的タイプの人柄で本当に皆から頼りにされた人で深澤村政の顧問でもありました。また、若月俊一先生 元長野県佐久病院長(との名)にて日本農村医学会を世界的に押し上げた立役者でもあり常に弱い立場の人の味方でした。その父親の姿を見て同じ医学の道で御活躍されている立身政信先生にあらためてお礼とエールを送りたいと思います。



資料館での一コマ

地元旅館の女将さんたち来館！

お詫び

前月号で紹介した記事に間違いがございました。訂正しお詫びいたします。申し訳ありませんでした。
11月16日(火)

地域を元気にするための取り組みとして地元の旅館の女将さんたちと農家との交流事業の視察めぐりがあり、観光のスポットとなりつつある当資料館を訪れました。



村長机での記念撮影

参加された旅館

- 世寿美屋 様
- 吉野屋 様
- 一休館 様
- 山田屋 様
- ホテル対滝閣 様
- 大盛館栖峰 様
- 本館春山荘 様

お知らせ

映画 『のちの山河』上映予定！

- 1/15(土) 山形市フォーラム山形
- 1/21(金) いわき市ボレボいわき
- 2/12(土) 大崎市大曲中央公民館
- 2/18(金)
- 2/13(日)

にしわがの10大ニュースで4位に！ 広報にしわが12月号より



深澤晟雄氏胸像

深澤晟雄胸像移転地域医療シンポジウム103点)が第4位に入りました。

顕彰碑文(深澤晟雄氏業績)

沢内村の自然は美しい。然し、冬季は激しい豪雪のため原始社会に還り交通はもとより、産業も文化も麻痺状態に入り、しかも生命を維持する最低の医療手段さえ失う生活を余儀なくされた。昭和三十三年深澤晟雄氏村長に就任するや、理想高く正義感の強い氏は、この自然の猛威を克服すること悲願として奔走、ついに村と果都盛岡まで冬期交通を確保し、特に医療行政において、高齢者、乳児に対する国保の十割給付を断行、村民の平均寿命の延長、乳児死亡率率零の金字塔を打ち樹てたことは、村史に銘記すべき不滅の業績である。六千村民の輝かしい偉業を受継ぎ、更に本村の発展と飛躍を期し「村民の道標」として、茲に氏の胸像を建立永く記念するものである。1966(昭和41年)9月建立



「今、語り継ぎたい人物達」講座で講演する米澤一男さん

米澤一男さん(苦勞様でした。)

晟雄の会」スタッフで「ぶなの園」の施設長でもある米澤一男さん通称米一(よねかず)さんが平成22年12月22日(水)盛岡市の西部公民館で深澤晟雄さんの功績を講演しました。き、語り継ぎたい人物達の第3回目であり、普遍的な理念としての「深澤精神」、人々に、希望を与えた社会派として晟雄さんの生き方を紹介し、大変盛り上がった講演となり受講者のアンケートには感銘を受けた言葉が多く寄せられたそうです。